

建設技術者の人材育成・確保に関する取組

今後の社会基盤整備、構造物の老朽化対策、災害時の緊急対応等が益々重要になる中、安全・安心な地域づくりを進めていくためにも、建設技術者の人材育成・確保が重要な課題となっています。

地域の建設業が技術力を保持し、地域の安全・安心を実現していくため、日胆地区の建設業を取り巻く状況を踏まえ関係機関と連携して設立した、「日胆地区 これからの建設技術者を育てる会」の活動などを通じインフラDXやi-Constructionによる最新技術の取組など建設業の魅力を伝え、建設技術者の人材育成・確保に積極的に取り組みます。

【実施概要】

- 土木への理解を深める効果的な現場見学会等の実施
- 関係機関と連携したインターンシップの実施
- 効果的な広報活動
- 地域内の教育機関等と連携した技術者の担い手育成・確保のための取組



現場見学会の様子

管内の概況

位置・気候

室蘭開発建設部は、北海道の道央南西部に位置する胆振総合振興局、日高振興局管内の4市14町からなる区域を管轄しています。管内は、西は豊浦町礼文華から東は襟裳岬を越えてえりも町日黒まで、海岸線延長387kmにわたって長く太平洋と接しています。

気候は全般的に温暖で雪の少ない地域です。沿岸部では春から夏にかけて海霧の発生が多く、秋には好天が続きます。内陸部は気温の年較差が比較的大きく、積雪量も多くなっています。また、登別市や白老町は道内でも降水量の多い地域です。

面積・人口

管内総面積は8,508km²で、北海道の面積のおよそ1割を占めています。これは東京都、埼玉県、神奈川県を合わせた広さに相当します。

人口は428,345人（北海道総合政策部「令和6年1月31日現在住基ネットにおける人口【参考値】」）で、全道総人口の8.4%を占めています。15歳以上就業者の産業3部門別割合は、第一次産業9.2%、第二次産業22.4%、第三次産業68.4%となっています。（総務省「令和2年国勢調査」）

産業

管内の産業は、胆振地域は農業、水産業、工業、観光などバラエティに富んでいます。一方、日高地域は農林水産業が中心で、全道的に見ても第一次産業の占める割合が高くなっています。その中で、胆振地域の貿易、工業、観光と日高地域の軽種馬生産は、北海道の産業経済に大きく寄与しています。

【商工業】

管内に所在する商業事業所は3,826事業所で、30,091人の方が従事しています。年間商品販売額は9,719億円で、これは全道における販売額の5.6%となっています。（総務省「令和3年経済センサス-活動調査」）

管内には国際拠点港湾を抱える室蘭市・苫小牧市を中心に鉄鋼、石油製品、自動車関連産業などが集積しており、道内最大の重化学工業地帯が形成されています。管内の製造品出荷額は15,189億円で、全道出荷額の27.5%を占めています。（北海道「第130回北海道統計書」）

また、苫小牧港・室蘭港では全道の62.2%に当たる貨物を取り扱っており、両港湾は北海道の物流拠点として重要な役割を果たしています。（北海道総合政策部「令和3年港湾統計資料（速報）」）

【農業】

管内の農業は、営農形態から3地域に大別されます。

胆振西部地域の洞爺湖周辺地帯は、温暖な気象条件を活かして野菜や高級菜豆、果樹など多様な農業が営まれています。また、丘陵地帯では酪農、畜産主体の農業が展開されています。

胆振東部地域は水稲生産が主体ですが、最近は野菜や畑作物、花き、肉用牛なども多く生産されています。また、軽種馬経営も見られます。

日高地域は国内生産頭数のおよそ8割を占める全国一の軽種馬生産地であり、酪農業・畜産業も盛んです。また、日高の気象・自然条件にあった野菜・花きなどの高収益作物の導入や農業経営の複合化なども進めています。

【林業】

管内の森林面積は653,987haで、国有林が5割、公有林が2割、私有林等が3割の比率となっています。全道における森林面積の11.8%を占め、特に日高地域は全道で最も高い森林率となっています。（北海道水産林務部「令和3年度北海道林業統計」）

平成30年北海道胆振東部地震では、国内の地震としては明治以降最大規模となる約4,300haもの森林被害が発生しました。

【水産業】

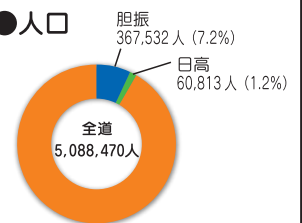
管内の水産業は、サケやスケトウダラが主力魚種となっており、胆振地域ではホタテ、日高地域では昆布の生産も盛んです。近年は水産資源の拡大に向けて「育てる漁業」の取組も進められており、ウニやマツカワ（ブランド名「王鰈（おうちょう）」）などの種苗生産も継続的に行われています。

【観光】

管内には洞爺湖や有珠山、登別温泉で有名な支笏洞爺国立公園と、日高山脈や襟裳岬、花の名山として知られるアポイ岳を含む日高山脈襟裳国定公園があり、美しく豊富な自然が訪れる人を楽しませてくれます。

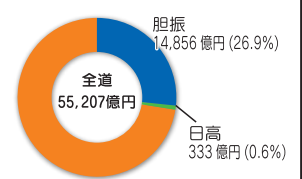
令和2年には白老町にアイヌ文化復興・創造の拠点となるウボボイ（民族共生象徴空間）がオープンしたほか、北海道ではこの管内にしかない世界ジオパーク（洞爺湖有珠山ジオパーク、アポイ岳ジオパーク）や令和3年に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産（北黄金貝塚、入江・高砂貝塚）もあり、多種多様な観光資源に恵まれています。

●人口



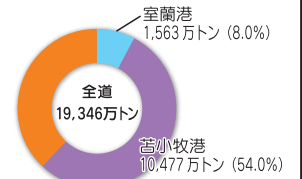
北海道総合政策部地域行政局市町村課
「令和6年1月31日現在住基ネットにおける人口【参考値】」

●製造品出荷額



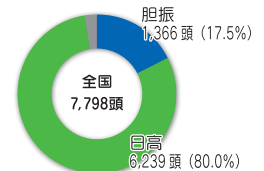
北海道「第130回北海道統計書」

●貨物取扱量



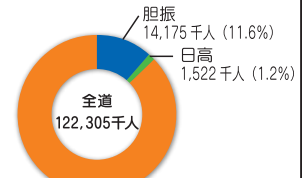
北海道総合政策部航空港湾局航空課
「令和3年港湾統計資料（速報）」

●軽種馬生産頭数



公益財団法人
ジャパン・スタッドブック・インターナショナル
「サラブレッドの生産頭数等各種統計
2023年地域別生産頭数」

●観光入込客数



北海道経済部観光局
「令和4年度北海道観光入込客数調査報告書」